

地域資源を活かした 魅力的な地域づくりに向けた説明会

2023年7月25日（火）,26日（水）

1. はじめに
2. 地域資源調査報告書について
3. (仮称) 地域未来ビジョンについて
4. 地域活性化協議会について
5. スケジュールについて

はじめに

福山みらい創造ビジョン（2021年3月策定）

市域のあらゆる場所で心豊かな暮らしが実現できる魅力的な都市を創造

大都市圏等から人や企業を呼びこむ
環境を構築し、新たな人の流れを創出

福山駅周辺が担うべき機能を生かし、
備後圏域外から人や企業を呼び込む。

福山駅周辺の再生

- ・賑わいを創出するコンテンツ、公共空間の形成
- ・経済の好循環を生み市域全体の一体的な発展
ex)リノベーションまちづくり（伏見町）
三之丸町地区再開発
福山駅北口スクエアの整備
中央公園Park-PFI（中国・四国地方初）



市域のあらゆる場所で、誰もが柔軟に
ライフスタイルを選択できる社会の実現

個性豊かで活力ある地域づくり

2022年3月「福山市地域戦略」を策定

取組の方向性

- ・ 地域コミュニティの再構築
- ・ 生活基盤の維持
- ・ 地域資源の活用
- ・ 地域のデジタル化の推進
- ・ 地域への関心・関係づくり（関係人口創出等）

本市には、瀬戸内海の恵に育まれた豊かな自然環境や、「福山城」、「ばら」、「鞆の浦」など、ここにしかない資源を数多く有しています。

しかし、様々な可能性のある地域資源を持ちながら、有効に活用されていないものや十分に認知されていないものなどが多く存在しています。

そこで、昨年度「福山市地域資源調査」を行い、本市の地域資源の特徴や社会の変化を調査しました。その結果、「体験」、「学び」など取組の強化ポイントが見えてきました。

今後は、官民で共通認識を持って地域資源の活用を進め、地域産業の活性化、雇用や担い手の確保につなげ、個性豊かで活力ある地域づくりを進めていく必要があります。



福山市地域資源調査について

調査期間：2022年（令和4年）6月16日～2023年（令和5年）3月31日
業務委託事業者：株式会社地域ブランディング研究所

（1）現状分析・トレンド変化の整理

本市の現状と課題分析

- 各種統計データ等の客観的なファクトにより、産業・経済・観光の状況を把握し、広島県、せとうちDMO等における広域戦略の動向を踏まえた課題を分析した。

専門家ヒアリング

- 各マーケットトレンドに精通した7名の専門家に対しヒアリングを実施し、次の視点から国内外のマーケットや観光トレンドの変化を取りまとめた。

（2）地域資源の把握・分析

キーパーソンヒアリング

- 本市で事業又は地域活動等に携わる25名に、地域プレイヤーとしての活動や課題についてヒアリングを実施した。
- 発信の強化や観光への積極的な活用、価値を高めるための地域資源の連携などを行い、もっと市外に魅力を知らせたいという意見や、課題として人材不足、資金不足、発信不足などが多く挙げられた。
- 市としての大きな方針を求める声もあり、市全体の取組としていく必要がある。

ワークショップ

- 市民を対象に参加者を募集し、ワークショップを開催した。グループディスカッションでは、地域資源の活用をテーマに、資源の洗い出し・エリアの強みを生かした活用案について発案・議論を行った。
実施日：2022年11月16日、17日 参加者数：合計50名
開催場所：鞆公民館、かんなべ市民交流センター、オンライン(Zoom)、北部市民センター、沼隈サンパル

地域資源の整理と専門家による分析

- 各エリアの地域資源のリストアップを行い、専門家による現地視察及び専門家へのアンケート調査を実施した。
- 核となる地域資源のピックアップとその根拠、専門家の意見、強みとなる地域資源の3つの視点から評価と具体的な取組アイデアの検討を行った。

国内外のトレンドやマーケットの変化

新型コロナウイルス感染症による影響

旅スタイルの変化

観光に求めることの変化

観光地が求めることの変化

○ 国内マーケット

■ シビックプライドの醸成

SNS映えを目的に訪れる観光客が増えるだけでは、地域内消費につながらないことから、エシカル消費（地域の活性化や雇用などを含む人・社会・地域・環境に配慮した消費行動）を推進する動きが加速している。観光を通じた地域のファンが支える仕組みを作り、シビックプライド（都市に対する市民の誇り）の醸成につなげていくことが、国内マーケットにおけるトレンドの1つになっている。

■ 地域のつながり・持続性への寄与

コロナ前の傾向として、「インバウンドに頼りすぎ」、「団体や新規客の獲得が中心で、リピーターの獲得による持続性に寄与していない」といった課題が挙げられている。

一方、新たな需要として、特定の地域を応援するというつながりや、居場所が欲しいといった需要が増加傾向にあり、限られたお金を意義・意味あるものに消費したいという考え方の浸透や、プロセスエコノミーの加速といった社会的背景がある。

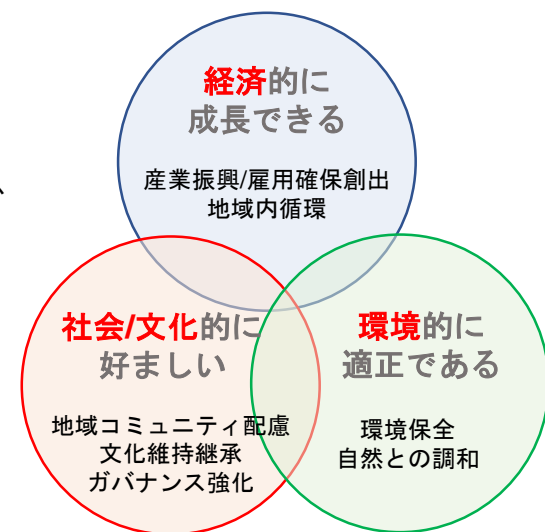
○ 海外マーケット

■ SDGs対応の標準化

特に欧米豪諸国では、SDGsの文脈で物事を見ることが当たり前となっており、適切な対応ができない地域は目的地として選ばれないことが一般的な考え方となっている。

具体的な観点としては、「未来へのビジョン・価値観に共感ができるかどうか」、「（高価であったとしても）ホンモノであるかどうか」といった部分が着目されるような社会へと変化している。

地域の持続性に必要な要素



※参照：UNWTO資料

1 資源の活用に関すること

■ 地域資源の魅力をより深く知る → 「交流・学び」

(交流する機会や、学びの視点を盛り込むことで、資源の裏側にあるストーリーや思いを感じる)

■ 既存コンテンツのブラッシュアップによる効果的な誘客 → 「体験」

(マーケットトレンドの変化を踏まえた高付加価値化による効果的な誘客)

■ 地域資源をつなぎ、エリアでの滞在時間延長を狙う → 「周遊」

(共通項のある資源同士をつなぐことで、個々の資源のみの活用にはない新たな価値の創出)

2 資源そのものに関すること

■ 外部からの評価を活かした他都市との差別化 → 「独自性」

(外部からの評価を活かしたブランディング・磨き上げ)

■ 自然環境や文化財などの地域資源の保護・継承

(自然環境や受け継がれてきた歴史・文化等の「ホンモノ」の価値が求められている)

■ 観光とくらし（生活・仕事）の両立

(観光が住民生活や生業と結び付くことでエリア全体としての発展に繋がる)

→ 「持続性」



「持続可能な発展」 = SDGs の視点

地域資源に関心を持つ人や企業の参画による地域の活性化

地域資源・活動の整理～資源から見るエリアの特徴～

【北部】

古代と現代が共存する歴史探訪&豊かな自然・動物とのふれあいの里

■ 代表的な地域資源

- ・山野峡などの自然豊かな環境
- ・ものづくり（繊維産業）
- ・古墳、砂留
- ・福山市立動物園

【北東部】

城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を味わう街

■ 代表的な地域資源

- ・文化資源、施設（廉塾・神辺本陣など）
- ・古墳、砂留
- ・ローカル鉄道（福塩線、井原鉄道）
- ・酒蔵（天宝一）

【中央・東部】

福山を代表する観光、芸術・文化、交流、産業の中心地

■ 代表的な地域資源

- ・福山城
- ・ばら（ばら公園など）
- ・ものづくり（JFEスチール工場など）
- ・文化、芸術（博物館、美術館）
- ・くわい

【南部】

海を臨むレジャーと癒やしの交流スポット

■ 代表的な地域資源

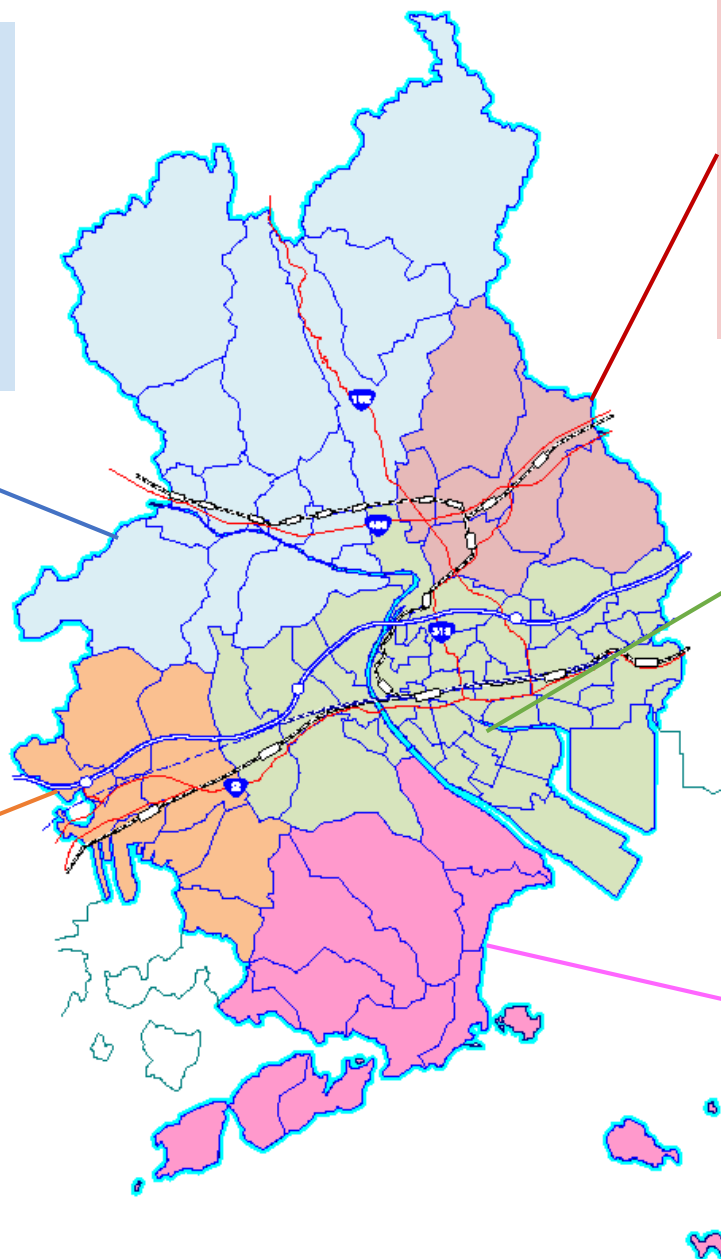
- ・鞆の浦
- ・海洋資源
- ・リトリートスポット
- ・ぶどう
- ・ものづくり（鍛造技術、保命酒）

【西部】

伝統文化を継承する学びのフィールド

■ 代表的な地域資源

- ・ものづくり（備後畳表、下駄）
- ・ゲタリンピック



地域資源・活動の整理～テーマやエリアごとの代表的な資源～

	中央・東部	西部	北部	南部	北東部
エリアの特徴	福山を代表する観光、芸術・文化、交流、産業の中心地	伝統文化を継承する学びのフィールド	古代と現代が共存する歴史探訪&豊かな自然・動物とのふれあいの里	海を臨むレジャーと癒やしの交流スポット	城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を味わう街
自然資源	ばら公園 緑町公園 中央公園	本郷憩いの森キャンプ場 竜王山	大滝神社と名水 藤尾の滝 蛇円山 ほたる	瀬戸内海国立公園 仙酔島 走島	堂々川 ほたる 八丈岩
都市資源	総合体育館前公園 かわまち広場	松永クリーク 松永グリーンパーク	山野農村公園 山野峡県立自然公園 富谷公園 福塩線	海洋アクティビティ	堂々公園 吉野山公園 福塩線 井原鉄道
産業資源	うずみ くわい ワイン JFEスチール工場	松永下駄 備後畳表（い草） 富有柿 いちじく	繊維産業 グリーンアスパラガス 山野峡ワイン 食用バラ	瀬戸内の地魚 沼隈ぶどう 田尻の杏・オリーブ 保命酒 鍛造	桃 天宝一 福山琴

地域資源・活動の整理～テーマやエリアごとの代表的な資源～

	中央・東部	西部	北部	南部	北東部
文化資源	福山城 明王院 広島県立歴史博物館 ふくやま美術館 ふくやま文学館 明王院五重塔 俄山弘法大師	ゲタリンピック 東村町かかし祭り 本郷神楽 本荘神社・潮崎神社	けんか神輿 素戔鳴神社 備後一宮吉備津神社 別所砂留 芦田大谷砂留 二子塚古墳 山野民俗資料館	鞆の浦の町並み お手火神事 能登原とんど 沼名前神社 太田家住宅 阿伏兔観音 常国寺	廉塾ならびに菅茶山旧宅 神辺本陣 葛原家住宅 堂々川砂留 御領古墳群 四つ堂（辻堂・憩亭） 神辺城跡
施設資源	明王台展望台 福山市人権平和資料館 福山自動車時計博物館 喜多流大島能楽堂 エフピコアリーナふくやま 次世代エネルギーパーク iti SETOUCHI	松永はきもの資料館 骨董&ギャラリー喫茶 蔵 福山市園芸センター ふくやまふれ愛ランド 広島県福山少年自然の家	福山市立動物園 芦田わくわく市 信岡フラットミュージアム 貝原歴史資料館	いろは丸展示館 神勝寺禅と庭のミュージアム クレセントビーチ 道の駅アリストぬまくま 平家谷花しょうぶ園 平家谷つばき園 ツネイシしまなみビレッジ 内海ふれあいホール	菅茶山記念館 神辺歴史民俗資料館
体験コンテンツ	城泊 くわい収穫体験 次世代テクノロジー体験 藍染体験 エフピコ工場見学	い草植付け体験 円座づくり 本荘重政史跡散策会 自然ゲーム・クラフト体験	砂留見学 古墳巡りツアー 藍染体験 縫製技術講座 デニム工場見学 ぶどう収穫・ワイナリー 見学 けんか神輿見学 キャンプ	民泊体験 クルージング・カヌー 砂風呂・江戸風呂体験 漁業体験（底曳・のり養 殖等） 鍛造体験 座禅体験 鞆潮待ちガイドツアー 鞆竜馬コースツアー キャンプ スポーツ合宿	古墳散策 古墳ロードスタンプラリー 山陽道歴史巡りウォーク 史跡ガイド案内ツアー ワイン列車

■ 伝統ものづくりが根付いており、関係者の変革意欲も旺盛

下駄、畳表、鍛造といった伝統を受け継ぐものづくりと、備後鞆から発展したデニム産業、備後地域の産業の中心とも言えるJFEスチールの大型工場などの伝統を活かした技術が市内に点在している。



■ 豊かな自然と寺社仏閣を活かしたリトリート滞在の拠点

豊かな自然があり、滝や峡谷、キャンプ場など自然を楽しみながら滞在できる場所が豊富。寺社仏閣において禅を体験することができ、旅人の休憩所として辻堂が多く存在するなど、近年のトレンドであるリトリート需要を満たすことができる。



■ 陸・海の両方の魅力を楽しめる豊かな食文化

瀬戸内海の水産物などが豊富な漁師のまちであるとともに、ぶどうなどの農産物が栽培されており、陸と海の魅力を楽しめる環境があり、農産物・水産物を活かした食を巡る旅には大きなポテンシャルがある。



■ 潮待ちの港として親しまれてきた、豊かな瀬戸内の魅力

「潮待ちの港」として商売の中心であった鞆の浦の町並み、瀬戸内海の穏やかな気候をフィールドとした海洋アクティビティ、底引網漁や海苔養殖などの漁業、さらに地元漁師が直接魚を出荷する「アリストめまぐま」など、瀬戸内の魅力を感じられる生業と、体験できるコンテンツが南部地域を中心に存在している。



■ 古墳群などの歴史文化を活用したシビックプライドの醸成と誘客

古墳や砂留、辻堂などの歴史的な価値のある資源が北部・北東部地域を中心に多く点在し、神辺本陣、廉塾など城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を体験できる文化財も残されている。多くが地域住民の手で守られており、古代～中世～江戸時代までの人々の暮らしを知ることができる。



■ 市民の生活文化・アートを切り口にしたまちづくり

JR福山駅があり、本市の玄関口とも言える中央部地域では、博物館や美術館などが並ぶほか、天守北側鉄板張りである「福山城」や、2025年には世界バラ会議福山大会を控え、本市のシンボルであるばらが咲く街並みなど、観光客など外から来る人へ福山らしさを印象付ける生活文化が多く存在している。



(仮称) 地域未来ビジョンについて

(仮称) 地域未来ビジョンとは

- ① エリアやテーマごとに地域資源をつなぎ、活用の方向性やめざす将来イメージを示すもの
- ② 将来イメージの実現に向けたプロジェクトの選定や3年程度のロードマップを作成
- ③ 事業者・市民活動団体・市民が主体となり策定，実行

期待する取組

新たなコンテンツの創出

周遊コース・
ツアーの造成

複数のターゲット層への発信

期待する効果

資源の魅力向上

市内外から新たな
人や企業の呼び込み

地域の稼ぐ力の向上

多様な主体による地域資源の活用を通じた
地域の活性化

豊かな瀬戸内の海でつなぐ
体験交流型クルーズ

※アイデアの
一例です

備後フィッシュ



マリナクティビティ



鯛網

海の道で地域資源をつなぐ

仙酔島



民泊



海洋ゴミ学習
(SDG 14)

広域の資源との連携（備後圏域）

※アイデアの一例です



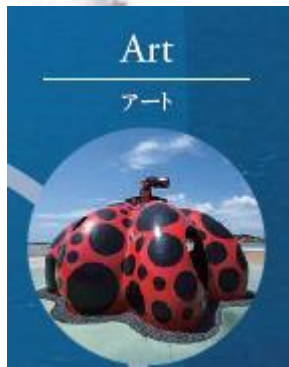
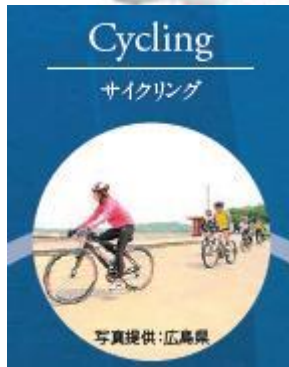
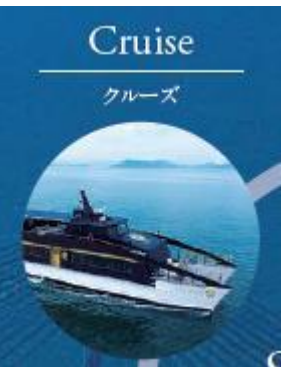
(ガンツウ, ベラビスタ スパ&マリーナ, Azumi Setoda)



広域の資源との連携（せとうち）

- 主要駅・空港
- 主要観光地（一部抜粋）

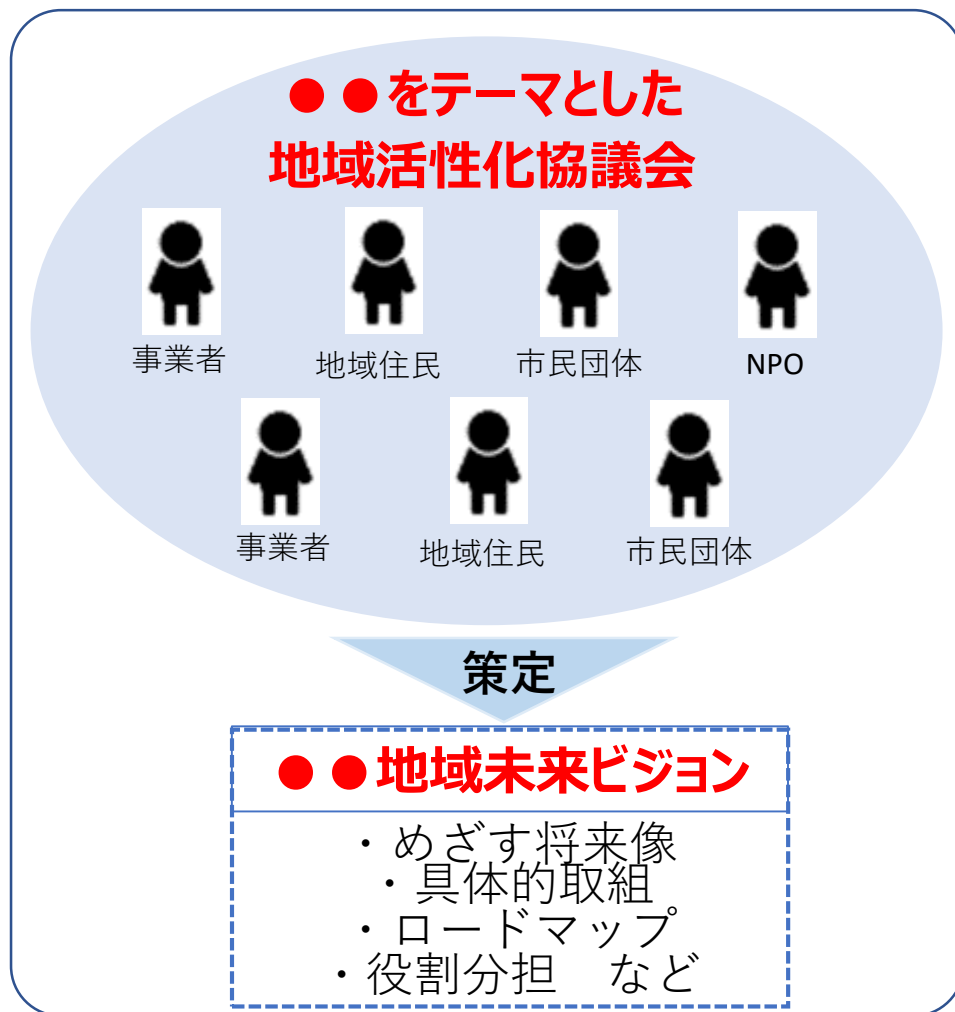
※アイデアの一例です



地域活性化協議会について

(仮称) 地域活性化協議会のイメージ

(仮称) 地域未来ビジョンを策定・実施するプロジェクトの主体。
地域資源の活用している事業者や市民活動団体、地域住民、NPO等での構成を想定。



プロジェクトの立ち上げや
ビジョン策定の支援・助言

福山市

(仮称)地域未来ビジョン
アドバイザー会議
(外部有識者会議)

地域活性化協議会の立ち上げ、（仮称）地域未来ビジョンの策定までの流れ

説明会

3会場+個別説明

相談

（仮称）地域未来ビジョン相談窓口

窓口：福山市企画政策課

- ・地域資源の魅力をもっと知ってもらいたい
- ・新しいことにチャレンジしたい
- ・一緒に取り組む仲間を見つけたい

相談状況に応じて、ワークショップを個別開催

勉強会・ワークショップ

地域活性化協議会立ち上げに向けた仲間づくり，意識合わせ

- ・関係性の強い地域資源や取組のグループ化を促進
- ・勉強会（観光を切り口にした関係人口づくり，地域づくりなど）
- ・ワークショップ（グループ内での共通のストーリーやテーマ性の選定，将来イメージの共有）
- ・届出フォーマットを活用した地域活性化協議会の立ち上げに向けた諸事項確認

必要に応じて
テーマごとに
1~2回実施。

届出（構成メンバー，背景・課題，めざす姿，取組概要，予算規模などを記載）

地域活性化協議会の立ち上げ

3~4回程度の会議やワークショップ等を行い，めざす将来像や具体的なアクションプラン・取組等について検討し，（仮称）地域未来ビジョンとして取りまとめる

地域活性化協議会での会議・ワークショップイメージ

	議題	議論のポイント
第1回	①メンバー間の取組・経験の共有 ②現状と課題の整理 ③めざす姿の設定 ④プロジェクトのアイデア出し	・外部から見た強みを生かしつつ、地域のめざす姿を尊重 ・共通する歴史やストーリーを意識 ・資源・環境の保全に配慮したサステイナブルの視点など強化ポイントを意識
第2回	①具体的に試行するプロジェクトの決定	・ターゲット設定 ・持続可能な取組にするための財源・人材の確保、役割分担
第3回	①プロジェクトのロードマップの作成 ・役割分担・スケジュールの作成 ・収支計画の作成	・関係事業者や関係地域への説明や調整を含めたインナーブランディング

①現状・課題②めざす将来像③具体的な取組④実施計画（ロードマップ）等をとまとめる

（仮称）地域未来ビジョンの策定・実施

地域活性化協議会に参画する事業者や市民団体、地域住民等が主体となって、（仮称）地域未来ビジョンの策定・実施

人（ヒト）

- ・ 専門家による伴走・相談（地域ブランディング研究所 吉田社長）
- ・ （仮称）地域未来ビジョンアドバイザー会議メンバーによるアドバイス

物（モノ）

- ・ イベント開催に係る場所の提供

金（カネ）

- ・ 国・県・市・民間団体の補助・支援メニューの紹介
- ・ クラウドファンディング等の資金確保のサポートなど

情報（ジョウホウ）

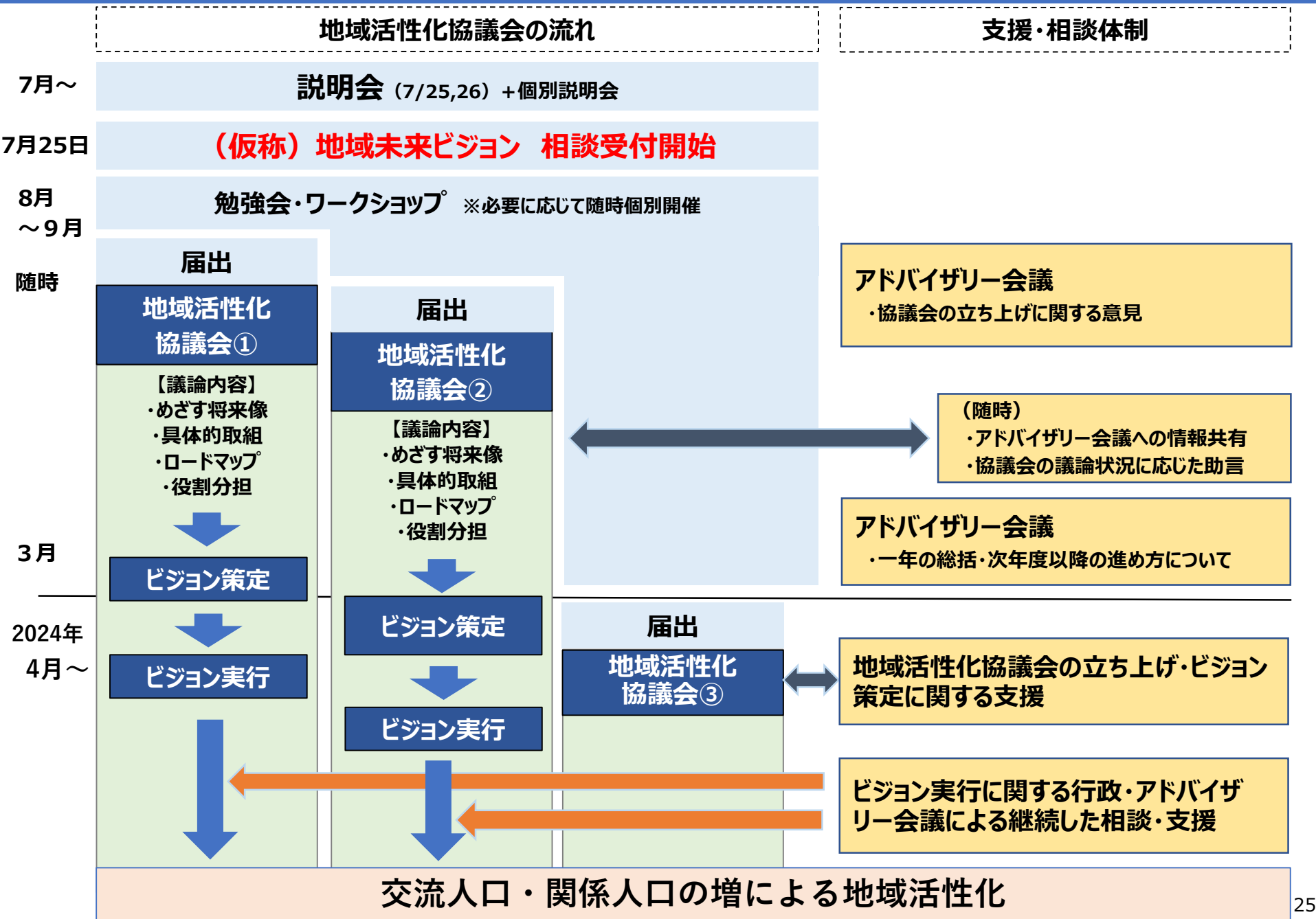
- ・ 市の各種広報媒体での発信

(仮称) 地域未来ビジョンアドバイザー会議メンバー

	氏名	所属・役職	専門分野	経歴等
委員	天野 耕太	株式会社TripleS 代表取締役	デジタル	インターネットメディア、新しいウェブテクノロジーとマーケティング、モバイルを活用した集客のプロフェッショナル。組織作りの実績に高い評価。
	牧野 友衛	(一社)メタ観光推進機構 代表理事	事業戦略・ イバウト	インターネットの新規事業開発経験が豊富で、日本政府観光局デジタル戦略アドバイザー、東京都「東京の観光振興を考える有識者会議」委員等を務める。Twitter Japan上級執行役員、トリップアドバイザー代表取締役などを歴任。
	土肥 亜都子	フリーランスコミュニケー ションディレクター	情報発信	テクノロジースタートアップの広報対応、外資系企業の日本参入時の広報渉外などをサポート。米テスラ社 アジア太平洋地域広報部長、グーグルジャパン株式会社グローバルコミュニケーションズ&パブリックアフェア シニアマネージャーなどを歴任。
	加藤 久美	和歌山大学観光学部 教授 武蔵野大学 教授	サステナビリティ	主に観光とサステナビリティなどについて研究。クイーンズランド大学(豪) 客員教授。Global Sustainable Tourism Council (GSTC) 理事。観光庁持続可能な観光アドバイザー。
	村橋 克則	大正大学社会共生学部 教授	DMO経営	じゃらん事業部長を務めたのち、中小企業庁地域資源活用アドバイザーなどを歴任。せとうち観光推進機構事業本部長着任実績あり。
	下川 勇	福井工業大学工学部 教授	建築・ 都市デザイン	建築・都市デザインに精通し、実践的な都市・地域計画に取り組んでいる。自然と歴史を切り口にした東尋坊空間整備計画や六呂師高原星空保護区計画等に携わる。本市出身。
	西 正尚	(公社)福山観光コンベン ション協会 専務理事	観光	大手旅行会社で国内外旅行を担当。(公社)おかやま観光コンベンション協会専務理事、日本コンgresコンベンションビューロー理事を務める。
	加川 倫崇	広島県東部観光推進協議会 会長	観光	広島県東部の観光推進に賛同する旅行業や宿泊業、交通事業者などの企業・団体によって構成される広島県東部観光推進協議会会長。
アドバイザー	樫野 孝人	株式会社CAP 代表取締役	情報発信	イベントや映画、メディア等のプロデュース実績が豊富。広島県広報統括官や京都府参与の経験があり、自治体の広報にも精通。
	菅 優子	福山市MICE誘致ディレクター	MICE	クルーズ船誘致や企業の海外進出支援、国際会議業務などの実績が豊富。福山市MICE戦略の策定、福山市MICE推進協議会の設立を支援。

今後のスケジュール

今後のスケジュール



「多様な主体による地域資源の活用」と
「体験を通じた交流」により
市内外から新たな人や企業を呼び込む

多様な主体の参画によって、地域を活性化！

まずは、福山市企画政策課に御相談ください
(084-928-1292 担当：河野・田村)

参考資料

素材・資源

磨き上げ

高付加価値

デニム



課題：使用済み衣類の廃棄

【市外就労支援事業所】衣類を生地に解体

【市内繊維業者】解体した生地を再縫製

【都市圏デザイナー】ファッション商品化



100万本のばら



課題：剪定されたばらの廃棄

【都市圏アーティスト】フラワーコンポスト（堆肥をつくる容器）をアート作品化

【市内小学生】フラワーコンポストに剪定されたばらを瓶詰め

【市内ばら愛好家】ばら園への堆肥散布



自然豊かな
里山里地



課題：耕作放棄地

【都市圏企業】耕作放棄地を活用した観光農園開園の企画立案

【市内地域住民】耕地整備や植栽に協力



高度循環化／循環のしやすさや廃棄量抑制に向け、素材・資源のあり方を見直し